

外国語教育ワークショップ

プチITを利用した 外国語教育の実践

[日時] 2014年7月26日(土) 13時~18時

[会場] 関西大学以文館4階セミナースペース

e-Learning、LMS、アクティブラーニング……名称と実態がなかなか結びつかない外国語教育におけるIT利用。このワークショップでは、そういった難しい話はさておき、教室には教員が持ち込んだiPad、iPhone、コンピュータが1台だけある、あるいは授業の準備段階でのみコンピュータを利用することができるといった環境下でのITの利用方法について考える。さらには授業で利用する教育資源をいかに蓄積し、共有するか、また一つの素材をいかに多角的に利用するかといった視点について具体的な実践を通して、活用方法を考える場としたい。

講演

内田慶市 (関西大学)

外国語教育におけるICT利用は有効か？

Workshop

紅粉芳恵 (京都産業大学)

YouTubeを使った字幕作成と授業デザイン
—インタビュー動画の利用

氷野善寛 (関西大学)

Webを利用した中国語教育
—サジェスト型中国語オンライン辞書と
コンテンツデータベース

清原文代 (大阪府立大学)

音声付き教材を作る—Quizlet、EPUBなどを例に—

中西千香 (愛知県立大学)

レアリアを利用した授業の具体案

神谷健一 (大阪工業大学)

Phrase Reading Worksheet

千野真一 (新潟大学)

中国語CMを利用した教授法について

樋口拓弥 (関西大学外国語学部卒業生) & 氷野善寛

Yubiquitous Text & データセットの利用

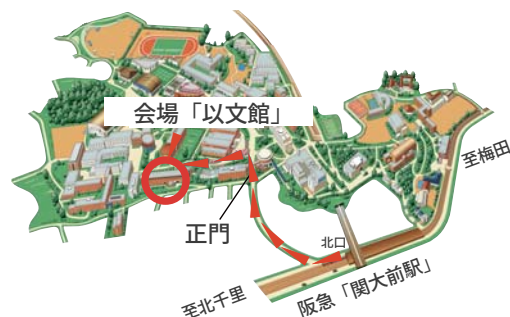
最新のプログラムやタイムテーブルは6月末にウェブページに掲載します

参加費無料
事前登録をお願いします
<http://goo.gl/jzN2PK>



↑スマホからの参加
申し込みはこちらから

iPad や iPhone 等の端末をお持ちの方は
当日会場まで是非お持ちください



主催: 「中国語教育におけるワンコンテンツ・マルチユースに基づく実践的教材共有のモデル化」(科研費・基盤研究(C)課題番号: 25370665)

共催: 「EPUB(電子書籍)による音声入り外国語教材の開発と検証」(科研費・基盤研究(C)課題番号: 25370642)

「中国語教育におけるレアリアの効果的活用」(科研費・基盤研究(C)課題番号: 25370639)

「中国語教育におけるビックデータ構築の基礎研究」(関西大学若手研究者育成経費)

阪急電鉄・地下鉄堺筋線で「北千里」行乗車で直行。関大前
駅で下車。関大前駅(北口)から関西大学までは徒歩約8分。

紅粉芳恵 (京都産業大学)

YouTube を使った字幕作成と授業デザイン —インタビュー動画の利用

中国語の文章を読んで、訳すだけではつまらない！ということ、今年度の講読クラスでは、インタビュー動画に字幕を付けてみようという取り組みをしている。一般に字幕は1行に14文字、1秒間に4文字というルールがあり、インタビューに適した語彙や言葉遣いを工夫しなければならないため、中国語力だけでなく、日本語力も必要となる。YouTube上の動画のタイムラインをチェックして、グループで推敲した字幕をアップするまでの学生の活動を報告する。



①: 视频中点在哪里?
A: 视频中点在哪里?
B: 视频中点在哪里?
C: 视频中点在哪里?
D: 视频中点在哪里?

[参考 URL] <http://www.ch-station.org/caifang/>

氷野善寛 (関西大学)

Web を利用した中国語教育 —サジェスト型中国語オンライン辞書とコンテンツデータベース

中国語教育と学習に関するあらゆることをまとめたウェブページをつくることのできないかを考え複数の方向からアプローチをしています。ひとつは「みんなの教材」のような教員と一緒に、学習教材や素材、教案などを集めたサイトの作成で、もうひとつが学習者向けの中国語辞書の作成になります。本ワークショップでは開発中のこの2つのシステムについて紹介を通じて体験していただけると考えております。



[参考 URL] <http://www.chlang.org>

干野真一 (新潟大学)

中国語 CM を利用した教授法について

本報告では中国語のCMを活用した教授法を提案する。その利点は、次の3点に集約されると考える。1. 音声と映像によるため印象に残りやすい。2. 生きた言語表現に実際の速度で触れられる。3. 短い所要時間で、有意義な気分転換となる。総じて、中国語を学ぶ上で言語習得と並んで不可欠な、言語文化への理解の助けとすることが可能である。報告では多角的な活用法について紹介する。

中西千香 (愛知県立大学)

レリアアを利用した授業の具体案

外国語教育の中で用いられる、その国の人が実際の生活の中で目に触れる実物資料をレリアアと言う。外国語教育にこれらを如何にとりいれるか考えることは、外国語学習を実践的なものにし、相手の国を理解することができ、非常に重要である。レリアアは、街の看板やスーパーのチラシ、新聞雑誌、さらにはHPやアプリまでその範囲は広い。

本ワークショップでは、レリアアを紹介しながら実際の授業の場でどのように使用可能かについて実践例を紹介し、参加者と考えていきたい。

神谷健一 (大阪工業大学)

Phrase Reading Worksheet

Phrase Reading Worksheet は縦方向に折って使うことで複数の学習方法から学習者に合った方法を選ばせることができる教材であり、作成ツールを使うと任意のテキストから容易に作成できる。今般、新たに中国語用のツールを開発した。英語用のツールと比べると機能面では改善の余地があるが、3つ折りで原文・ピンイン表記・訳文を並べたレイアウトを作成することができる点は中国語教育の現場でも有効に活用していただけるのではないだろう。
[参考 URL] <https://dl.dropboxusercontent.com/u/14905265/prw/prw.html>

清原文代 (大阪府立大学)

音声付き教材を作る—Quizlet、EPUBなどを例に—

Quizlet とは音声付きの単語カードセットを作成できるアメリカの Web サービスである。音声付きカードの他、音声を聞き取って入力する練習、マッチングゲーム、自動生成のテストなどの機能があり、単調な反復練習になりがちで挫折しやすい語彙学習の最初の段階をサポートするのに有効と考えられる。カードセットを作成するための基本的な機能は無料アカウントを取得することで可能であり、カードの両面に表示する単語と訳語を入力するだけで上記の機能を持つカードセットを作成できる。また、カードセットが公開されていれば、学習者はアカウント無しで教員が作成したカードセットを利用することができる。

EPUB とは電子書籍の規格である。EPUB は特定の企業に依存しないオープンな規格であるが、Google、Apple 等が採用し、独自フォーマットを採用する Amazon も EPUB からの変換ツールを用意しており、実質的に電子書籍の世界標準と言ってよい。2011年に策定された EPUB3 では、テキストと画像に加えて、音声や動画を内包することができ、更に音声の再生に同期してテキストがハイライト表示されるメディアオーバーレイにも対応し、音声付き外国語学習教材を EPUB で作成することが可能になった。



[参考 URL] <http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/>

樋口拓弥 (関西大学外国語学部卒業生) & 氷野善寛

Yubiquitous Text & データセットの利用

“Yubiquitous Text” は無料の iPad/iPhone アプリで、授業中に教室内で CD や DVD プレーヤーの代りに使うことができます。普通のプレーヤーにあるような再生・停止といった機能以外にも、本文のタッチした部分から自由に再生することができ、復唱練習やシャドーイングに適した再生モード、テレビやプロジェクターなどにビデオやスクリプトを表示する機能など iPad ならではの便利な機能も備えています。



[参考 URL] <https://sites.google.com/site/yubiquitousextja/>

[参考 URL] <http://www.chlang.org/contents/yubiteki/>